

伊賀市社会事業協会 2013

2013年6月30日 第26号

発行者

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

理事長 西岡 時彦

〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2

TEL:0595-21-5545

FAX:0595-23-6670

URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

映画「エクレール・お菓子放浪記」

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

会長 森下 達也

もうご存知の方が多い映画ではあるが、私にとつての原風景を強く呼び起こすものがあり、改めて取り上げさせて頂きたい。この映画はメインロケ地が津波に破壊される前の宮城県石巻市であったこと、出演された地元エキストラの方々も被災されていること、そして、大震災前日である平成二十三年三月十日に完成披露の試写会を東京で行なったが、一転翌日には全ての上映計画がお蔵入りしてしまったこと、等々、さながら悲運を一身に背負って生まれたようなものだったのである。しかしその後月日を経る程に、映画が語りかけようとしていた心こそ今日の日本が求めるものではないかという声が高まり、再び公開上映へと動き出したのであった。

新たな方針としては、その入場料収入の一部を東日本大震災復興支援にあてることとし、全国各地の団体や組織の協力を仰ぎながら再スタートした。三重県では早くから「地域に人の心をつなぐ市民運動」と位置付けて、各市町に上映運動組織を立ち上げた。そして多くの人々の助力によって、予想を大きく超える上映回数と入場者数の実績をあげたのである。過日三重県鈴木英敬知事から、宮城県社会福祉協議会三浦俊一会長（エクレール基金管理委員会）への、義援金贈呈式を行なっている。因みに、全国各地では現在でも、この映画の上映がつづいている筈だからご覧頂ければ幸いである。

私は三回観た。推進役の一人だからでもあるが、観るたびに新しい発見があり退屈することはなかった。筋書を一口に言えば、あの大戦中感化院を出た一人の少年が様々な出会いと別れを繰り返しながら荒みゆく世をさまよひ、敗戦後は所謂浮浪児となって生きぬくというものである。心の背景としては感化院の心やさしい女性教師があり、その教師が少年に教えた懐かしい歌「お菓子と娘」が繰り返しスクリーンを流れるのである。暗がりの中で映画を観ながら、漂うごとくデジャ・ビュにひたっていたのは私だけではない。大戦後の日本人が、地を這いずってでも復活しようとしていたあの時代を知っている世代が、老いながら猶健在だからである。

この映画の原作者は、私に近い世代といってもよい西村滋氏、ある日機会を得てしばし西村さんと懇談させて頂くことが出来た。思った通り、西村さんが描こうとされていた往時の各場面と、私の目

が遠い日に見ていた実景とが、所々一致していることを確認させて頂いたのであった。つまり西村さんは、ご自分の原体験をこの作品に投影しておられたということなのだろう。私の記憶の中の光景とは、例えば東京上野駅地下道にたむろする浮浪児集団や、西郷さんの銅像のある公園入り口石段下で、手足や視力を失った傷痍軍人たちが物乞いをする姿などであったが、西村さんは「その辺りに私はいたんです」と叫ぶように仰しかったのだ。若しかすると西村さんと私は、同じ日同じ時間同じ場所に立っていたかもしれない。

昭和二十二年早春、ソ連軍占領下から引き揚げた私は父が病に倒れたため、埼玉県浦和の親戚宅に寄宿し、昼働いて夜は都立上野高等学校夜間課程に通うという苦学時代があった。その頃毎日のように、くだんの東京上野界隈を通っていたのだ。然う言えば、浮浪児集団を横目で観察しながら気付いていたことがあった。集団の中には少し年長のリーダーがいて、おさない仲間を守りながらきびきび指図していたのである。映画の中では、主人公の少年がそのリーダーではないか。私の視野にいた浮浪児たちは、その後荒廃の街をたくましく生きぬき、やがて靴磨きをしながら自活の途を辿るのである。嗚呼、この稿を結ぶにあたって私は何と言えよいのだろうか。今の子どもたちは幸せだね、と言えよいのだろうか。

（三重県社会福祉協議会会長）



—海女のいる浜(三重県志摩市)— 松田 昇 写真集「風土記」より



“青空レストラン”で食事する子どもたち

開設から40年の歳月を経て園庭にどっしりと根を張った桜が、3月中旬からぼつぼつと蕾を膨らませ、入園式には子どもたちを祝うかのように満開になりました。

子どもたちは「桜の木の下がピンク色になったよ、きれいな」「背伸びしたら桜に手が届きそうだな」などと、友だちと話をしながらお花見を楽しんでいました。また風に舞う花びらをそっと手のひらで受け「お母さんにプレゼントしよう」と、

桜の下で、心もおなかも満たされて

みどり第一保育園

大切にポケットに入れる子もいました。

満開の桜を見上げて「先生、外で給食を食べたいな」と言うリクエストに応え、3・4・5歳児が桜の下で食事をすることにしました。「いただきます」の挨拶はいつもより声が弾んでいました。「レストランで食べているみたいでおいしいな」「明日もここで食べたいな」などと、桜を見ながら楽しいランチタイムになりました。

ムになりました。
桜の下で、子どもたちは心もおなかも満たされたようです。



「お花見しながら食べるとおいしいね」

きれいになったよ ありがとう 古山保育園

毎年4月、保護者全員による奉仕作業が恒例になっています。

溝掃除やテラスと非常階段の清掃、窓拭きなどをしていただき、たちまちきれいになっていきました。

翌日、登園してきた子どもたちは「わあ、きれい」「窓がピカピカ光っている」と大喜びでした。



保護者の皆様に奉仕作業をしていただきました

放課後児童クラブ 『風の丘』『第2風の丘』

笑顔で、ただいま

平成25年4月より、ゆめが丘地区にある放課後児童クラブの2施設を当法人が運営することになりました。これで当法人が運営する児童クラブは6施設となります。

子どもたちは、安全な環境の中で遊んだり、自習をするなど、充実した放課後を過ごしています。



第2風の丘の仲間です「よろしくね」

上野公園へ親子遠足 ～笑顔がいっぱい～

ひかり保育園

子どもたちが楽しみにしていた春の親子遠足で、上野公園へ行きました。ここ数年あいくの天候で実施できなかったため、今年こそはと心待ちにしていたようです。

親子で手をつなぎ、さあ出発！ 到着すると、ふれあいフォークダンス、ひかり保育園にちなんだ〇×ゲーム、公園内の探索などを楽しみました。その後は、芭蕉翁の旅姿を型

どった俳聖殿の前で、お楽しみのお弁当タイム。子どもたちは、愛情いっぱいのおにぎりや玉子焼きを頬張り、大満足でした。

若葉薫るさわやかな公園で、楽しい時間を過ごすこ

とができ、保護者からは「楽しかったわ」「近くでこんないい場所に来られてよかった」「来年も来たいな」という声が聞かれました。うれしそうな子どもたちの笑顔が印象的な親子遠足でした。



「たかいたかい、何が見える」



お堀のほとりを歩いて伊賀上野城を目指します

交通事故に気をつけよう ～とび出しはいけないよ～

曙保育園

伊賀警察署交通課や伊賀市交通安全協会女性部の指導の下、親子交通安全教室を開催しました。

子どもの交通事故で最も多いと言われている『とび出し』について話を聞き、子どもたちは「道路で遊びません」「道路にとび出しません」と約束しました。女性部のぬいぐる

み劇が始まると「手をつないで歩かなあかん」「急にとび出したら、車にひかれるよ」と、ぽんたくんを

心配して大きな声をかけていました。

その後、模擬道路を使って、正しい道路の歩き方、信号の見方、

「右見て左見て、もう一度右見て渡ろうね」横断歩道の渡り方などを親子で体験しました。「あっ、信号が青になった」「右見て左見て、もう一度右見て」と、保育園の交通安全指導で覚えたルールを思い出しながら道路を横断する姿は真剣そのものでした。

親子で交通ルールを守る大切さを再確認できました。



「右見て左見て、もう一度右見て渡ろうね」



「ぽんたくん、とび出しはだめだよ」



なつかしい風情の数馬茶屋にて

のれんをくぐると、「お久しぶり、お元気でしたか」と女将さんが親しく迎えてくれました。昔ながらの長火鉢が置かれ、炭がこる匂いがしています。「昔はよくこれでかき餅を焼いてもらったよ」などと思い出話に花が咲きました。また、口いっぱいに広がるわらび餅やよもぎ団子の香りに、皆さんが驚かれています。「挽きたてのきな粉と伊賀で摘んだよもぎを使用していますよ」と、お店のこだわりを話してくださいました。利用者の皆さんは「今日は女将さんに会えて良かった」と心もおなかも大満足でした。

お茶クラブでは、様々なお茶やお菓子を味わっていただくために、銘菓店や喫茶店へ出かけています。

5月には、荒木又右衛門の仇討ちで有名な鍵屋ノ辻史跡公園内にある数馬茶屋に行きました。



女将さんとの会話が弾みます

「女将さん」のおもてなしで 楽しい時間

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

脱水症状にご用心

暑い夏をのりきろう

梅雨時は湿度が高くなるため、体調が崩れやすくなり、胃腸の機能が低下して食が細くなりがちです。夏の暑い日に、クーラーの効いた部屋でも水分補給をしないまましていると脱水症状になることがあります。また、トイレを心配して水分を控えたり、少食や偏った食事をしていても水分量が足りなくなってしまう。体内の水分は、尿や便、汗など目に見えるものだけではなく、呼吸をするだけでも水蒸気として失われています。1日に必要な水分量は1,500ccから2,000ccです。食が細い時は特に多めに、お茶や牛乳、スポーツ飲料で水分補給をして下さい。果物や野菜にも水分が多く含まれ、ビタミンやミネラルも補給できるのでしっかり摂りましょう。適切な水分管理をし、夏を元気に乗り切ってください。



おかげさまで32周年

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

5月1日に開園32周年を迎えました。お祝いの会で、利用者の皆さんに、開園した昭和56年当時の出来事を紹介すると、「あれから32年も経つのか」と時代の流れの早さにあらためて驚かされていました。

さらに、利用者の皆さんに事前に伺っていた「心に残る風景・言葉」を紹介すると、懐かしい話に大いに盛り上がりました。

隣接する梨ノ木園民謡クラブの皆さんが、武田節などでご自慢ののどを披露して華を添えてくれました。



銭太鼓を手に元気に踊る利用者と職員

七千羽の折り鶴

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

4月のある日、七千羽の千羽鶴が梨ノ木園に届きました。電話でお話を伺ったところ、視覚に障がいがある女性でした。ご本人が盲導犬の貸与を受けた中部盲導犬協会に折り鶴を寄贈されたのをきっかけに、福祉施設で働く人への感謝や励ましのために贈り続けられているとのことです。広島平和記念公園へも世界平和の願いを込めて贈られているそうです。そんな真心のこもった千羽鶴は、すでに35万羽を超えていると話してくださいました。

いただいた千羽鶴を大切に飾り、職員一同その思いを胸に、利用者の皆さんのおだやかな生活を支援させていただきます。と強く思いました。



思いが詰まった折り鶴です

開所16周年記念週間

老人デイサービスセンターなしのき

桜の花びらの舞う中、隣接する梨ノ木園の中庭で、開所16周年記念のお祝いをしました。

梨ノ木園は、上野盆地を見渡す里山の山麓にあり、利用者の方々はいつもと違う景色に感激し「気持ちええな」「上野城や町がこんなに見えるんやな」と会話が弾みました。青空の下、お祝いのお花見弁当を食べた後、遊歩道で散歩を楽しみました。終始、大きな笑い声が爽やかな風に乗って聞こえてきました。



梨ノ木園から遠くを眺めて「絶景やわー」

くつろぎ空間完成！

身体障害者支援施設 梨丘園

利用者の方々に癒しの時間を過ごしていただくにはどうすれば良いかと検討を重ね、ソファを設置することにしました。職員が座り心地を何度も確かめて選んだキャメル色の大きなソファで、安らぎの空間が完成しました。

皆さんに喜んでいただけるかどうか不安を抱えながら、ソファスペースのある生活が始まりました。

1か月が経ち、いつも利用されている方だけでなく「私も座ってみたい」と車椅子からソファに移動して座る方、ロールカーテンで間仕切りし音楽を聴く方など、利用の幅が広がっています。自然に人が集まり、利用者の皆さんの安らいだ表情や楽しげな笑い声があふれる日々をととてもうれしく感じています。



大きなソファでくつろぐ利用者の方々

「僕にまかせて！」

かしの木ひろば

A君の日課は、身体を動かすことで、午前中は軽作業、午後からは散歩が中心です。散歩は、学生の頃から続いています。A君は卒業という環境の変化から、朝の準備などが少しできにくくなってきていましたが、“他の利用者の車いすを押して一緒に散歩に行く”ということを目指していることにより、「かしの木ひろばへ行くぞ！」という気持ちで、朝の準備がスムーズにできるようになりました。「自分には大きな役割があるんだ」という責任と充実感で、毎日の散歩が午後まで待ちきれないぐらい、とても楽しみになっています。



「ゆっくり押すね」

点訳・音訳・手話の講習会が始まりました

上野点字図書館

5月から点訳講習会および手話講習会、6月から音訳講習会を開催しています。



点訳講習会と音訳講習会では、当館の図書製作に携わっていただくボランティアの養成を目的にしています。視覚障がいの特性や情報取得の困難さを学び、正確で読みやすい点字図書、聞きやすい録音図書を製作するために必要な技術を習得します。

手話講習会では、より多くの方に手話を知っていただき、挨拶など初歩的な日常会話の習得を目標に、手話表現技術を学びます。

これらの講習会を通して、障がいのある方々への理解を深めていただきたいと思います。



弁財天を礼拝した後の記念撮影

職業の確立にも大いに貢献しました。今年も10名の会員の皆様、杉山総検校の功績に感謝の気持ちを新たにしました。

を育て、視覚障がい者の教育、を完成させました。多くの弟子を完成させました。多くの弟子を完成させました。多くの弟子を完成させました。

杉山総検校は三重県津市で誕生、幼くして失明し、江戸に出て試行錯誤の末、杉山流管絃術を完成させました。多くの弟子を育て、視覚障がい者の教育、を完成させました。多くの弟子を完成させました。

江戸時代の鍼師杉山総検校を偲び
杉山祭を開催
伊賀市盲人ホーム
毎年、伊賀市上野視覚障害者福祉会の会員の皆様が集まり、江戸時代の盲目の鍼師、杉山和一総検校の命日（5月18日）前後にその遺徳を偲んで、杉山祭を開催しています。

上野点字図書館

コンパクトディスクを寄贈していただきました

株式会社日立製作所中部支社内、親切会中部支部様よりCD-R500枚並びにCD-RW1000枚をご寄贈いただきました。頂戴いたしました品は、当館所属の音訳ボランティアの皆様によりまして、録音図書の製作に活用させていただいております。今後、視覚障がい者の貴重な情報源として生まれ変わり、多くの方々に利用していただくことができます。

点訳絵本を寄贈していただきました

ロート製薬株式会社てんやく絵本ボランティアの会様より点訳絵本2冊をご寄贈いただきました。

ご寄贈いただいた絵本(作者：きたやまようこ)は次の2冊です。

「ゆうたはともだち」「ゆうたとさんぽする」
ご利用者に貸し出しさせていただきます。

ちびっこ忍者に手裏剣プレゼント かしの木ひろば

忍者の里伊賀市では、4月からGWにかけての約1か月間“伊賀上野NINJAフェスタ”が開催され、街には忍者に扮した観光客があふれます。

そこで、折り紙が得意な利用者が手裏剣を作り、みんなで駅前や大通りで配ることにしました。とても好評で、準備していた100個の手裏剣は、すぐになくなってしまいました。

利用者は手裏剣を手渡しながら子どもたちと交流し、NINJAフェスタを楽しみました。



「折り紙で作った手裏剣をどうぞ」

お知らせひろば

ご支援ご協力いただいている方々

(平成24年12月～平成25年5月)

個人

—敬称略・五十音順—

井岡 昭、稲田 久樹、稲森千鶴子、稲森 律子、今矢 義文、上田 順子、岡森 金一、岡森 泰造、岡森眞理子、奥田 英夫、奥田やえ子、門田 進、上村 倫子、北泉 優子、葛岡エミ子、葛原 義一、清水 栄子、角田 宗成、角田 充代、曾我 京子、竹島 和美、田中 澄夫、田中美代子、谷口 敢一、谷口 哲男、田村 敏子、田山紗知子、塚本 初子、辻岡 聖三、豊岡 百子、豊田 實、中川 定子、中須 利也、中野 靖子、中森 洋子、中矢 英夫、中山 洋美、西口 保次、西田 誠、西出 成子、福田 定子、藤井 充子、藤島 千代、藤永 清信、藤林 政代、藤森 直美、藤森 三重、前川 悟、前川 宏之、松田 玉江、松田 雅子、南出 寛三、宮田 琴代、森 喜良、森 令子、森岡 佑子、森下 弘子、森田 満枝、森中 一美、矢口キ又代、矢倉 昌、山田 龍男、山本 浜子

団体

—敬称略・順不同—

上野点訳筆仕グループ、上野音訳グループのび、名張点訳グループ、名張音訳グループ、伊賀市更生保護女性会の会、絵手紙いろは、絵本ボランティア「ももこ」、おはなしクラブ「いぐい」、蕉門ホール「語り部塾」、ボランティアグループあゆみ、ボランティアグループミックスジュース、三田たんぽぽ会、長田小学校、伊賀市上野視覚障害者福祉会、伊賀市消防団西部分団長田部、伊賀市交通安全協会女性部、印代地区、朝屋地区、大野木環境保全会、上野福居町老人クラブ、小田町公民館、小田町住民自治協議会、神戸老人クラブ連合会、白樫自治会、寺町自治会、寺町老人会、友生地区住民自治協議会、友生老人クラブ、下友生宮農組合、中瀬地区老人クラブ、三田地区住民自治協議会、ゆめが丘地区民生委員児童委員、曙保育園保護者会、睦保育園保護者会、三田保育園保護者会、中瀬城東保育園保護者会、友生保育園保護者会、花之木保育園保護者会、予野保育園保護者会、長田保育園保護者会、古山保育園保護者会、みどり保育園保護者会、ひかり保育園保護者会、みどり第一保育園保護者会、府中保育園保護者会、ゆめが丘保育所保護者会、岡八幡宮獅子神楽保存会、伊賀市上野仏教会、黒住教上野中教会、西蓮寺、日蓮宗法音寺上野支院安立寺、平井神社、小川整備、サンシヨク、志摩すし店、西尾テンキ、日本ファイン、はなたファーム、日立製作所親切会中部支部、オート製菓てんやく絵本ボランティアの会

平成二十五年 当法人の役員

(五十音順)

会長 森下 達也
 理事長 西岡 時彦
 理事 石橋 正行
 理事 惠村 洋子
 理事 岡森 明彦
 理事 佐々木 聖子
 理事 杉本 千子
 理事 竹内 千子
 理事 戸上 宗賢
 理事 中坂 實宏
 理事 松岡 洋行
 理事 窪田 朱子
 理事 後藤 のぶ
 理事 中出 潔巳
 監事 石橋 正行
 監事 石山 淑子
 監事 猪木 千里
 監事 惠村 洋子
 監事 岡森 明彦
 監事 表 雄一
 監事 菊野 善久
 監事 木村 清俊
 監事 佐々木 聖子
 監事 杉本 将
 監事 杉山 忠勝
 監事 角田 康一
 監事 竹内 千子
 監事 塚本 初子
 監事 戸上 宗賢
 監事 中坂 實宏
 監事 中村 昌子
 監事 中森 洋子
 監事 福岡 達雄
 監事 松岡 秀行
 監事 宮崎 慶一
 監事 宮本 清子
 監事 森中 一美
 監事 山出 栄子
 評議員 森下 達也
 評議員 西岡 時彦
 評議員 石橋 正行
 評議員 惠村 洋子
 評議員 岡森 明彦
 評議員 佐々木 聖子
 評議員 杉本 千子
 評議員 竹内 千子
 評議員 戸上 宗賢
 評議員 中坂 實宏
 評議員 中村 昌子
 評議員 中森 洋子
 評議員 福岡 達雄
 評議員 松岡 秀行
 評議員 宮崎 慶一
 評議員 宮本 清子
 評議員 森中 一美
 評議員 山出 栄子

～ 平成24年度 当法人の決算諸表 (法人全体) ～

資金収支計算書

事業活動収支計算書

貸借対照表

勘定科目	決算額(千円)
介護保険収入	385,508
自立支援費収入	213,774
利用料収入	29,326
措置費収入	194,799
運営費収入	1,071,376
私的契約利用料収入	1,798
その他の事業費収入	46,149
経常経費補助金収入	233,551
寄附金収入	2,874
雑収入	23,991
受取利息配当金収入	282
会計単位間繰入金収入	1,500
経理区分間繰入金収入	23,500
経常収入計	2,228,428
人件費支出	1,590,388
事務費支出	175,251
事業費支出	313,570
借入金利息支出	346
会計単位間繰入金支出	1,500
経理区分間繰入金支出	23,500
利用者負担減免額	490
経常支出計	2,105,045
【経常活動資金収支差額】	123,383
固定資産売却収入	243
施設整備等収入計	243
固定資産取得支出	37,917
施設整備等支出計	37,917
【施設整備等資金収支差額】	- 37,674
積立預金取崩収入	10,000
財務収入計	10,000
借入金元金償還支出	3,504
積立預金積立支出	52,912
財務支出計	56,416
【財務活動資金収支差額】	- 46,416
<当期資金収支差額合計>	39,293
[前期末支払資金残高]	298,848
当期末支払資金残高	338,141

勘定科目	決算額(千円)
介護保険収入	385,508
自立支援費収入	213,774
利用料収入	29,326
措置費収入	194,799
運営費収入	1,071,376
私的契約利用料収入	1,798
その他の事業費収入	46,149
経常経費補助金収入	233,551
寄附金収入	2,874
雑収入	23,991
引当金戻入	131,367
国庫補助金等特別積立金取崩額	82,275
事業活動収入計	2,416,788
人件費支出	1,587,533
事務費支出	175,251
事業費支出	313,570
減価償却費	139,971
利用者負担減免額	490
引当金繰入	134,494
事業活動支出計	2,351,309
【事業活動収支差額】	65,479
受取利息配当金収入	282
会計単位間繰入金収入	1,500
経理区分間繰入金収入	23,500
事業活動外収入計	25,282
借入金利息支出	346
会計単位間繰入金支出	1,500
経理区分間繰入金支出	23,500
事業活動外支出計	25,346
【事業活動外収支差額】	- 63
【経常収支差額】	65,416
固定資産売却益	200
その他の収入(事業活動)	28,129
特別収入計	28,329
固定資産売却損処分損	659
その他の支出(事業活動)	28,129
特別支出計	28,788
【特別収支差額】	- 459
【当期活動収支差額】	64,957
[前期繰越活動収支差額]	903,623
【当期末繰越活動収支差額】	968,580
その他の積立金取崩額	10,000
その他の積立金積立額	52,912
【次期繰越活動収支差額】	925,668

勘定科目	決算額(千円)
流動資産	415,625
現金預金	195,585
未収金	219,247
立替金	2
前払金	761
仮払金	30
固定資産	3,098,153
固定資産(基本財産)	2,032,779
建物	1,845,323
土地	187,456
固定資産(その他固定資産)	1,065,374
建物	64
構築物	34,790
機械及び装置	14,242
車両運搬具	8,868
器具及び備品	84,547
ソフトウェア	16,021
建設仮勘定	5,954
権利	898
投資有価証券	11
措置施設繰越特定預金	86,752
建設積立預金	96,000
償還積立預金	5,000
人件費積立預金	73,700
修繕積立預金	260,332
備品等購入積立預金	61,766
保育所施設設備整備積立預金	99,800
退職共済掛金	155,489
その他の積立預金	61,000
その他の固定資産	140
資産の部合計	3,513,778
流動負債	168,795
未払金	73,277
預り金	4,180
仮受金	27
貸与引当金	91,331
固定負債	172,033
設備資金借入金	16,604
退職給付引当金	155,489
負債の部合計	340,888
純資産の部	114,331
基本金	114,331
国庫補助金等特別積立金	1,391,559
その他の積立金	744,350
次期繰越活動収支差額	925,668
(うち当期活動収支差額)	64,957
純資産の部合計	3,172,890
負債及び純資産の部合計	3,513,778

